

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

東海市（区町村）地域公共交通計画の評価等結果（令和3年4月～令和4年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
らんらんバス利用者数： 309,884人/年(H26)→ 365,000人/年(R5)	<ul style="list-style-type: none"> 朝タダイヤの設定 バスロケーションシステムの導入 GTFSデータの公開 定期券の導入 QRコード決済の導入 車内抗菌処理 	バス事業者からの利用者明細表	284,794人/年 前年度と同水準となっている。長引くコロナ禍において、外出自粛やテレワーク普及等による働き方の変化等が要因となり、公共交通全体の利用者が減少している。	バスロケーションシステムや定期券等の周知を図るとともに、利用者の利便性向上を図るため、ICカード決済の導入等を実施する。	
買い物、通勤、通学などの日常生活での移動がしやすいと思う人の割合： 55.7%(H24)→60.5%(R5)	<ul style="list-style-type: none"> 朝タダイヤの設定 バスロケーションシステムの導入 GTFSデータの公開 定期券の導入 QRコード決済の導入 	第6次東海市総合計画に関する市民アンケート	61.1% (R3) 土地区画整備事業における道路整備や、公共交通機関の利便性の向上によるものとする	次期ダイヤ改正に向け、令和4年度に実施した市民アンケート調査及び利用者アンケート調査結果の分析を行い、地域間幹線系統や沿線市町のコミュニティバスとの接続について検討する。	
らんらんバスの満足度 55%(H23)→70%(R5)	<ul style="list-style-type: none"> バスロケーションシステムの導入 GTFSデータの公開 定期券の導入 QRコード決済の導入 車両の更新 	利用者アンケート	71.5% (R4)： とても満足5%、満足21.5%、普通45%、悪い21.5%、とても悪い6%、分からない1% 1日の運行本数やダイヤ（乗り継ぎのしやすさを含む）に対する不満が多かったことから、全体の満足度が低くなったものとする。	令和4年度に実施した市民アンケートや乗降調査等の結果を基に市民ニーズに沿ったルート・ダイヤを検討する。 アンケートの回答区分について、「普通」を設けたことによりどちらとも取れない回答が多くなってしまったので、今後のアンケートの取り方について検討する。	
75歳以上高齢者の外出率 53%(H23)→65%(R5)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者循環バス利用促進事業 免許証自主返納支援事業 高齢者向けバスロケーションシステム講習会 	中京都市圏パースントリップ調査 (R4調査)	-	今後も他部局等と連携を図りながら、高齢者を対象としたバスの乗り方教室やバスロケーションシステム講習会を実施する等、利用促進を図っていく。	調査結果が公表されていないため

(記載に当たっての留意事項)

- 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。